

幼児教育学科第三部

アドミッション・ポリシー

入試を通して、幼児教育学科第三部が求めるのは、次のような学生です。

「保育者として豊かな感性と教養を身につける意欲と目的意識を持ち、熱意のある人」

つまり

1. 子どもと共に、自分らしさを表現できる人
2. 学生生活を通じて、理想の保育者像をめざして努力できる人
3. 3年間の大学での学びと就労を両立できる人

豊かな感性と教養、就労経験と学習に基づく職業観、保育ニーズに対応する実践力を身につけ、自立した職業人を育成するという幼児教育学科第三部の教育理念に共感し、自ら学び、考え、行動できる人を求めます。

カリキュラム・ポリシー

幼児教育学科第三部のカリキュラムは、その教育理念に基づき、就労することにより職場で得た豊かな経験や職業意識と、学校での豊かな教養と深い専門性の学びとを結びつけ、多様化する現代の保育・教育ニーズに対応できる優れた実践力を育成することを目指し、編成されています。そのカリキュラムは教養科目と専門科目から成り、教養科目については「幅広い教養と豊かな人間性の涵養」、専門科目については「保育理論の理解」「保育の内容と方法の理解」「課題解決能力の育成」を大きなねらいとしています。教養科目の中には、労働することの意義を考え、それを支える職業観を育成するという第三部独自の目標を掲げた科目も設置されています。

幼児教育学科第三部の教育理念、教育目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修めた学生は卒業が認定されます。カリキュラムの中で、ねらいを実現させるために設定された目標は以下の通りです。

「教養科目」

1. 人文・社会・自然各分野における広く豊かな教養の涵養
2. 急速に変化する時代における諸課題に鋭敏に反応する感性とその課題に取り組むための知性の習得
3. 職業人として求められる美しい表現力の涵養
4. 外国の優れた文化を理解し、国際化に対応できる能力の育成
5. 健康の保持・増進並びに明朗な心身の育成
6. 高度情報化社会の進展に対応する基本的な情報処理能力の習得
7. 労働することの意義を考え、それを支える職業観の育成

「専門科目」

1. 保育理論の理解
 - ・ 保育や教育・養護の目的の理解
 - ・ 保育の対象である子どもやその保護者についての理解
2. 保育の内容と方法の理解
 - ・ 保育・教育の内容や実践の方法の理解
 - ・ 保育・教育実践を支えるための基礎的な技能の修得
3. 課題解決能力の育成
 - ・ 学んだことを基に課題を発見し、進んで研究を重ねることで、自らの保育実践力を高めていく姿勢や能力の獲得

<取得できる資格・免許>

幼児教育学科第三部で取得できる資格・免許は以下の通りです。

保育士資格、幼稚園教諭 2 種免許状、レクリエーション・インストラクター資格、ピアヘルパー受験資格。

① 保育士資格

保育士資格を取得するためには、法令に定められた授業科目を履修し、その単位を修得することとされています。本学では以下の表の右欄にある「本学の開設授業科目」で示されている科目を履修することになります。

必修及び選択必修科目（教養科目）

告示による教科目				本学の開設授業科目		
系列	教科目	授業形態	単位数	開設されている科目	授業形態	単位数
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	不問	6 以上 ※	日本国憲法	講義	2
				情報基礎演習	演習	2
				日本語表現	講義	2
				女性の自立と人権	講義	2
	外国語	演習	2 以上	外国語コミュニケーション	演習	2
	体 育	講義	1	健康とスポーツ（講義）	講義	1
実技		1	健康とスポーツ（実技）	実技	1	
合 計		10 単位以上		12 単位（≧10 単位）		

※：授業科目一覧「◎」の科目

保育士資格取得のための必修科目（専門科目）：授業科目一覧「保」の科目

告示別表第1による教科目				本学の開設授業科目		
系列	教科目	授業形態	単位数	開設されている科目	授業形態	単位数
保育の本質・目的の理解	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2
	社会福祉援助技術	演習	2	社会福祉援助技術	演習	2
	児童福祉	講義	2	児童福祉	講義	2
	保育原理	講義	4	保育原理	講義	4
	養護原理	講義	2	養護原理	講義	2
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2
保育の対象の理解に関する科目	発達心理学	講義	2	発達心理学	講義	2
	教育心理学	講義	2	教育心理学	講義	2
	小児保健	講義	5	小児保健（講義）	講義	4
		実習		小児保健（実習）	実習	1
	小児栄養	演習	2	小児栄養	演習	2
	精神保健	講義	2	精神保健	講義	2
家族援助論	講義	2	家族援助論	講義	2	
保育の内容・方法の理解に関する科目	保育内容	演習	6	保育内容演習	演習	1
				保育内容（健康）	演習	1
				保育内容（人間関係）	演習	1
				保育内容（環境）	演習	1
				保育内容（言葉）	演習	1
				保育内容（表現）	演習	1
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2
	障害児保育	演習	1	障害児保育	演習	1
養護内容	演習	1	養護内容	演習	1	
基礎技能	基礎技能	演習	4	幼児音楽	演習	2
				造形	演習	2
				幼児体育	演習	2
保育実習	保育実習	実習	5	保育実習	実習	5
総合演習	総合演習	演習	2	総合演習	演習	2
合計		50 単位		52 単位（≧50 単位）		

保育士資格取得のための選択必修科目（専門科目）

別表第2による教科目			本学の開設授業科目			
系列（教科目）		単位数	開設されている科目	授業形態	単位数	
保育の本質・目的の理解に関する科目		17 以上 ※1	保育者論	講義	2	
保育の対象の理解に関する科目			保育カウンセリング	演習	2	
			幼児理解の理論と方法	講義	2	
保育の内容・方法の理解に関する科目			指導法の研究	講義	2	
			保育内容総論	講義	2	
			教育方法論	講義	2	
基礎技能			基礎音楽	演習	2	
			パフォーミングボディ	演習	1	
			児童文化演習	演習	1	
			生活支援技術	演習	1	
保育実習 ※2	保育実習Ⅱ	実習	〔 2 〕	保育実習Ⅱ	実習	2
	保育実習Ⅲ	実習		保育実習Ⅲ	実習	2
合 計		19 単位以上	21 単位（≧19 単位）			

※1：授業科目一覧の「●」の科目（この科目より8単位以上修得）

※2：授業科目一覧の「△」の科目（この科目より2単位以上修得）

① 幼稚園教諭2種免許状の取得（幼児教育学科第三部）

幼稚園教諭2種免許状を取得するには、法令に定められている通り、以下の(1)の基礎資格及び(2)の表にある科目を履修し単位を修得することが必要です。

(1) 基礎資格

学校教育法第104条第3項に定める「短期大学士」の学位を有すること、つまり本学の卒業要件（学則第29条）を満たし、卒業することが基礎資格となります。

(2) 大学において修得することを必要とする最低修得単位数

免許法施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目	
教 養 科 目	日本国憲法	2	日本国憲法	※2
	体育	2	健康とスポーツ（講義）	※1
			健康とスポーツ（実技）	※1
	外国語コミュニケーション	2	外国語コミュニケーション	※2
情報機器の操作	2	情報基礎演習	※2	
小 計		8		8

免許法施行規則に定める科目区分等		本学の開設授業科目			
教科に関する科目	国語		日本語表現 ※2		
	音楽		幼児音楽 ※2		
			基礎音楽 2		
	図画工作		造形 ※2		
	体育		幼児体育 ※2		
		パフォーマンスボディ 1			
小 計		4	11		
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、職務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	保育者論 ※2	
		教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育原理 ※2
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			発達心理学 ※2 教育心理学 ※2	
			4	6	
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法		保育内容総論 ※2	
		・保育内容の指導法		保育内容（健康） ※1 保育内容（人間関係） ※1 保育内容（環境） ※1 保育内容（言葉） ※1 保育内容（表現） ※1 指導法の研究 ※2 保育内容演習 ※1	
			・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法論 ※2
				12	12

免許法施行規則に定める科目区分等			本学の開設授業科目		
教職に関する科目	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	幼児理解の理論と方法	※2
				保育カウンセリング	2
	教育実習		5	教育実習（事前・事後指導を含む。）	※5
	教職実践演習		2	教職実践演習（幼稚園）	※2
小計			27		31
合計			39		50

※幼稚園教諭 2 種免許状取得のための必修科目

③ レクリエーション・インストラクター資格

幼児教育学科第三部では、以下の 3 科目 4 単位を修得すれば（財）日本レクリエーション協会認定の「レクリエーション・インストラクター」の資格が取得できます。

- ・レクリエーション概論 2 単位
- ・レクリエーション演習 1 単位
- ・レクリエーション実習 1 単位

④ ピアヘルパー受験資格

幼児教育学科第三部では、以下の 3 科目 6 単位を修得すれば、日本教育カウンセラー協会の「ピアヘルパー」資格認定試験の受験資格を得ることができます。

- ・発達心理学 2 単位
- ・教育心理学 2 単位
- ・保育カウンセリング 2 単位

ディプロマ・ポリシー

幼児教育学科第三部が大切にしているのは、「子どもの心に寄り添うことのできる保育者」を育てることです。卒業時には、豊かな感性と教養、保育ニーズに対応する実践力を身につけた自立した職業人として、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

- 社会で求められる基本的な教養とコミュニケーション能力の獲得
- 保育者に求められる専門的知識と技能の獲得
- 子どもの「夢中」をひきだすことのできる豊かな感性の獲得
- 自ら学び考える自律的な学習姿勢の獲得